

JIS

冷間圧造用炭素鋼—第2部：線

JIS G 3507-2 : 2005

(JWPA)

平成 17 年 1 月 20 日 制定

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本工業標準調査会標準部会 鉄鋼技術専門委員会 構成表

	氏名	所属
(委員長)	木原 諄 二	日本大学
(委員)	大河内 春 乃	東京理科大学
	大橋 守	新日本製鐵株式会社
	小澤 宏 一	JFE スチール株式会社
	鍛地 楯 生	財団法人日本海事協会
	加藤 碩	ステンレス協会
	國府 勝 郎	東京都立大学
	近藤 良太郎	社団法人日本電機工業会
	佐久間 健 人	独立行政法人大学評価・学位授与機構
	三宮 好 史	社団法人日本鉄鋼連盟
	中島 將 文	社団法人日本鉄道施設協会
	長瀬 忍	高压ガス保安協会
	福永 規	住友金属工業株式会社
	山内 学	株式会社神戸製鋼所

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：平成 17.1.20

官 報 公 示：平成 17.1.20

原 案 作 成 者：線材製品協会

(〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町 3 丁目 2-10 鉄鋼会館 TEL 03-3669-5311)

審 議 部 会：日本工業標準調査会 標準部会 (部会長 二瓶 好正)

審議専門委員会：鉄鋼技術専門委員会 (委員長 木原 諄二)

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者又は経済産業省産業技術環境局 基準認証ユニット産業基盤標準化推進室 (〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1 丁目 3-1) にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第 15 条の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

まえがき

この規格は、工業標準化法第 12 条第 1 項の規定に基づき、線材製品協会 (JWPA) から、工業標準原案を具して日本工業規格を制定すべきとの申出があり、日本工業標準調査会の審議を経て、経済産業大臣が制定した日本工業規格である。

これによって、**JIS G 3539** : 1991 は廃止され、この規格に置き換えられる。

制定に当たっては、日本工業規格と国際規格との対比、国際規格に一致した日本工業規格の作成及び日本工業規格を基礎にした国際規格原案の提案を容易にするために、**ISO 4954** : 1993, Steels for cold heading and cold extruding を基礎として用いた。

この規格の一部が、技術的性質をもつ特許権、出願公開後の特許出願、実用新案権、又は出願公開後の実用新案登録出願に抵触する可能性があることに注意を喚起する。経済産業大臣及び日本工業標準調査会は、このような技術的性質をもつ特許権、出願公開後の特許出願、実用新案権、又は出願公開後の実用新案登録出願にかかわる確認について、責任はもたない。

JIS G 3507-2 には、次に示す附属書がある。

附属書 1 (参考) **JIS** と対応する国際規格との対比表

JIS G 3507 の規格群には、次に示す部編成がある。

JIS G 3507-1 冷間圧造用炭素鋼—第 1 部：線材

JIS G 3507-2 冷間圧造用炭素鋼—第 2 部：線

目 次

	ページ
序文	1
1. 適用範囲	1
2. 引用規格	1
3. 種類の記号	1
4. 材料	2
5. 製造方法	2
6. 機械的性質	2
7. 鋼質	5
7.1 脱炭層深さ	5
7.2 球状化組織	5
8. 線径の許容差及び偏径差	5
9. 外観及び表面きず	5
10. 試験	6
10.1 試験片	6
10.2 引張試験	6
10.3 鋼質試験	6
10.3.1 脱炭層深さ測定試験	6
10.3.2 球状化組織試験	6
10.4 線径の測定	6
10.5 表面きず検出試験	6
11. 検査	6
12. 表示	7
13. 報告	7
付表 1 引用規格	7
付図 1 球状化組織の程度	8
附属書 1 (参考) JIS と対応する国際規格との対比表	9
解 説	13

冷間圧造用炭素鋼—第 2 部：線

Carbon steels for cold heading—Part 2 : Wires

序文 この規格は、1993 年に第 2 版として発行された、ISO 4954 : 1993, Steels for cold heading and cold extruding を翻訳し、技術的内容を変更して作成した日本工業規格である。

なお、この規格で側線を施してある箇所は、原国際規格を変更している事項である。変更の一覧表をその説明を付けて、**附属書 1** (参考) に示す。

1. 適用範囲 この規格は、ボルト、ナット、リベット、小ねじ、タッピンねじなどのねじ類及び各種部品を冷間圧造によって製造する場合に使用する冷間圧造用炭素鋼線(以下、線という。)について規定する。

備考1. この規格の対応国際規格を、次に示す。

なお、対応の程度を示す記号は、ISO/IEC Guide 21 に基づき、IDT (一致している)、MOD (修正している)、NEQ (同等でない) とする。

ISO 4954 : 1993, Steels for cold heading and cold extruding (MOD)

2. 引用規格 付表 1 に示す規格は、この規格に引用されることによって、この規格の規定の一部を構成する。これらの引用規格は、その最新版(追補を含む。)を適用する。

3. 種類の記号 線は、リムド相当鋼 6 種類、アルミキルド鋼 11 種類及びキルド鋼 21 種類とし、その記号は、表 1 による。